

### Ⅲ 環境教育活動への協力等

赤谷プロジェクトでは「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」の実現に取り組んでいます。この二大目標を推進するためには、プロジェクトの理解者及び協力者を増やしていくことが必要です。そのための一つの方法として、赤谷センターでは環境教育活動への協力を積極的に行っており、赤谷プロジェクトの特徴を生かした環境教育プログラムの充実を図っています。

※ 赤谷プロジェクトの特徴を生かした環境教育プログラムとは、プロジェクトの調査活動で得られた情報が環境教育の教材として提供され、また、環境教育で得られた情報はプロジェクト調査活動に提供される、フィードバック関係にある参加型のリアルタイムな環境教育プログラムです。

#### 1 要望に応じたプログラムの作成

平成26年度の赤谷センターでは、センター発足当初から培ってきた独自のプログラムに加え、参加者のニーズを収集しながら、「より安全に！より楽しく！より学べる！」提案型のプログラム作りにさらに取り組みました。

##### (1) プログラム提供の流れ

- ① 依頼者から要請（自然体験活動協力依頼書）
- ② 依頼者からニーズを把握
- ③ 提案する企画の作成→依頼者と内容の確認（安全に関する事項含む）
- ④ 事前調査（危険等の予測・緊急時・雨天時の確認・役割分担）
- ⑤ 楽しみとしてのサプライズメニューの検討！
- ⑥ 当日の天候を予測し実施
- ⑦ 報告書の作成（失敗したこと・こうすればもっと良かったことなどは必ず記載）
- ⑧ ホームページへ掲載及び活動集計表へ記載

##### (2) 提案した主なプログラム

プログラム名	目的	対象
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森の探検ウォークラリー (version2～4)</li> <li>・森の贈り物ってどんなもの？</li> <li>・旧三国街道の遠足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を通じて、仲間と楽しさ・達成感を分かち合う</li> <li>・森の生き物について学ぶ(危険な動植物も含む)</li> <li>・樹木の生きるための工夫を学ぶ</li> <li>・楽しい思い出をいっぱい持ってかえる</li> </ul>	小学生 中学生 デサントスポーツキッズ教室
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系サービス(自然の恵み)を探そう！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系サービスとはどんなこと</li> <li>・自然観察を通して生態系から得ている利益について学ぶ！</li> <li>・野生動物のモニタリング調査を体験する</li> <li>・旧三国街道での自然・歴史探索</li> </ul>	高校生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性復元に向けた取組</li> <li>・赤谷プロジェクトの概要等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤谷プロジェクトの概要</li> <li>・溪流の連続性の復元・人工林から自然林への復元</li> <li>・野生生物のモニタリング調査活動</li> </ul>	大学生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤谷プロジェクトの取組</li> <li>・赤谷プロジェクトの概要等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤谷プロジェクトの概要</li> <li>・溪流の連続性の復元及び人工林から自然林への復元</li> <li>・野生生物のモニタリング調査活動</li> <li>・生物多様性と環境教育（意見交換等）</li> <li>・地持続的な地域づくり 等</li> </ul>	環境省 林野庁 等

## 2 環境教育等の実施状況

平成26年度は、25回延べ609人へ対して外部から依頼を受け環境教育等を実施しました。(イベント的に実施したものは除く)

### ① 環境教育 (小中学生及び親子体験含む)

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者
H26.6.27	金	おゆみ野中学校 体験学習	「森の贈り物ってどんなもの？」	高原千葉村	おゆみ野中学校
H26.7.21	月	デリントキッズスポーツ教室	「森の探検ウォークラリー(version2)」	高原千葉村	デリント・みなかみ町
H26.7.23	水	新治小学校サマースクール	「森の探検ウォークラリー(short version)」	高原千葉村	新治小学校
H26.9.16	火	蘇我中学校 体験学習	「森の探検ウォークラリー-version3」	高原千葉村	蘇我中学校
H26.10.2	木	沼田北小学校 体験学習	「森の探検ウォークラリー-version3」	高原千葉村	沼田北小学校
H26.10.0	水	新治小学校 遠足	「10/2国街道の遠足」	10三国街道	新治小学校
H26.10.23	木	千葉市立打瀬中学校 体験学習	「森の探検ウォークラリー-version4」	高原千葉村	打瀬中学校
H26.12.2	火	新治小学校 遠足事後学習	「10/8遠足の振り返りと赤谷の森で見られる動物たち」	新治小学校2F視聴覚室	新治小学校
					計

#### 「森の探検ウォークラリーversion4」(千葉市立打瀬中学校)

平成26年10月23日(木)群馬県みなかみ町相俣高原千葉村において、千葉市立打瀬中学校2年生28名(引率1名)に対して、「森の探検ウォークラリーversion4」のプログラムを提供致しました。

これは、5つのポイント(①ターゲット・アニマル(フィールドスコープ・双眼鏡)②トレジャー・カード(赤谷の森 野生生物カード)③森の恵みと林業(木片のストラップ作り)④樹木の種子(ロケットリーフ作り))⑤ロケットリーフ大会!を班ごとに回り、解説を聞いて双眼鏡等を使用し、森の生物を探しながら学習します。ポイントごとにそれぞれテーマで個性を生かしたインタープリテーションを聞けるのも特徴です。今回は、今年のプログラムをバージョン2から~4まで、より楽しめ、選べる内容に変更しました。

また、プログラムを盛り上げるための、アイテム「いいね!シール」を作成し、活用しました。



①ターゲット・アニマル



②トレジャーカード



③森の恵みと林業



最後は、ロケットリーフ大会



④樹木の種子



※いいね!シール

※ 「森の探検ウォークラリー-version4」の詳細

## 森の探検ウォークラリー(version4)

各ポイント20分程度の説明を聞きながら、ポイントを順番に回ります。

平成26年10月23日(木) 12:30~14:50

番号	担当	場所	内容
1		スキーゲレンゲ  	「ターゲット・アニマル」 フィールドスコープと双眼鏡を使用し、ゲレンゲ内に設置してある動物の写真などを双眼鏡・フィールドスコープで探します。 森の動物等の調査疑似体験です！
2		スキーゲレンゲ 	「トレジャー・カード」 ヒントをもとにゲレンゲ内に隠されている、赤谷の森野生生物カードを制限時間内に探します。無線機を使用します。※最後に抽選会あり。  ※ヤマビル対策を十分に！
3		スキーゲレンゲ右側の管理道  	「森の恵みと森のかけら」 森の恵みにどんなものがあるのか？森の恵みの様々な利用のされ方を考えます。 木材に実際にふれながら木の特性を学びましょう。 ※ 森のかけらストラップづくりを行います。
4		シジューカラ横  	「樹木の種子」 ドングリ、クルミ、マツ等の種子を観察し、動けない植物が、子孫を残すためより遠くへ種子を運ぶため風や昆虫、動物等を利用し共存しています。 ※ 種子の模型、ロケットリーフを作ります
5		おもいで広場 	「ロケットリーフ大会」 プログラムのフィナーレとして、作成したロケットリーフを使用し、滞空時間を競う大会を行います。 練習時間を10分ほど設けます。 ※ 優勝者には、賞品アリ！

### 新治小学校遠足（6年生）

平成26年10月8日（水）群馬県みなかみ町「旧三国街道」において、新治小学校秋の遠足を実施しました。参加人数は、6年生49名（2クラス）、教員4名。本日は、絶好の秋晴れ！遠足日和になりました。

旧三国街道を歩き、歴史と自然散策（途中、クイズ・モニタリング体験含む）を通して、地元の自然にふれ合いました！



旧三国街道の歴史のお話

○観察中に実施する主なメニュー

- ・旧街道の樹齢300年を超える巨樹・巨木（ミズナラ等）を見ましょう！
- ・いろづく樹木の観察（紅葉・落葉の仕組みなど）
- ・センサーカメラを設置（12月2日の事後学習で撮影結果を見ながら森の生き物たちについて学習）



センサーカメラの設置

### 新治小学校遠足事後学習（6年生）



事後学習の様子

平成26年12月2日（火）新治小学校で平成26年10月8日に実施された「秋の旧三国街道遠足」の事後学習を同校の2階視聴覚室で行いました。

内容は、遠足の振り返りとその時に設置したセンサーカメラの撮影結果を見ながら、撮影された動物を中心に様々なエピソードを交えて、楽しくお話をしました。

また、赤谷野生生物カード（いいね！シール付）を活用し、いい質問・回答・発見・つつこみ！をしたお友達にカードを配布しました。



フジキキの解説

### 新治小のお友達の質問等

- ウサギの毛が変わるのはなぜ？
- カモシカはウシの仲間って本当ですか？
- リスは、どうやって真っ二つにクルミを割るんですか？
- 温暖化が進むとクマは冬眠しなくなるのですか？
- センサーカメラに動物がたくさん写っていて、赤谷の森に動物がたくさんいるのが良くわかった。
- イヌワシとクマタカの話が面白かった。（餌や卵の生む個数の話など）



## デサントキッズスポーツ教室



記念撮影

みなかみ町まちづくり交流課と(株)デサントSP統合部キッズ事務局との共催により、2泊3日でデサントキッズスポーツ教室がみなかみ町内で開催されました。赤谷森林ふれあい推進センターでは、みなかみ町まちづくり交流課の依頼により、平成26年7月21日(月：祝)群馬県みなかみ町相模高原千



ターゲット・アニマル

葉村において、「森の探検ウォークラリー」というプログラムを提供しました。今回のイベントは、「みなかみデサントスポーツタウンプロジェクト」の一環として2011年から開催されています。

※ 「みなかみデサントスポーツタウンプロジェクト」とは、みなかみ町とデサントが「地域密着型のコラボレーション」として、また「地方自治体と企業の官民コラボレーション」として、四季おりおりのスポーツや様々なイベントを実施し、子供から大人まで楽しめる健康的なライフスタイルの提案を行っているものです。



トレジャーカード

## ②セミナー・研修等 (大学生及び社会人)

年月日	曜日	名称	内容	開催地	主催者
H26.5.7	水	日本獣医生命科学大学 猛禽サークル:現地合宿	赤谷プロジェクトの概要と国が何を目標としているのか等について座学及び現地実習	小出俣自然林復元試験地外	日本獣医生命科学大学
H26.5.17	土	放送入学会接授業(講義)	国有林野の生物多様性復元事業について赤谷プロジェクトの内容と意義(鎌義 啓彦 所長)	沼田市立図書館	放送大学群馬学習センター
H26.5.18	日	放送入学会接授業(現地実習)	赤谷源流の豊かな自然を観察し、わが国の水源と生物多様性を考える(講師:長島成和、アシスタント栗田自然再生指導官)	小出俣林道ほか	放送大学群馬学習センター
H26.6.18	水	森林生態系スペシャリスト研修	「森林の生態・生物多様性の向上に向けた取組(現地実習)」	小出俣林道	関東森林管理局
H26.6.19	木	森林生態系スペシャリスト研修	〃	いきもの村、茂倉林道	関東森林管理局
H26.6.22	日	新潟大学赤谷プロジェクト見学	「小出俣自然林復元試験地の見学」	小出俣林道	新潟大学
H26.6.25	水	平成26年度 生物多様性保全Ⅰ(理論編)研修	赤谷プロジェクトの概要について	林野庁森林技術総合研修所	林野庁森林技術総合研修所
H26.10.23	木	群馬県農林大学 森林管理実習Ⅱ	森林管理実習Ⅱ「生物多様性に向けた取組」	いきもの村外	群馬県立農林大学校
H26.10.24	金	東京農工大学 大学院農学府 国際環境農学専攻	赤谷プロジェクトの見学と入学時期が異なる留学生同士の交流	ホテル後ヶ京 及び 旧三国街道	東京農工大学
H26.11.5	水	環境省自然保護官等研修Ⅲ	「林野行政に見る地域協働 ～赤谷プロジェクトを例に～」	環境省環境調査研修所	環境省環境調査研修所
H26.11.12	水	利根実業高等学校 校外学習	グリーンライフ科森林科学コース2年生「生態系サービスを探せ！」	旧三国街道(三坂線～群馬側トンネルコース)	利根実業高等学校
H26.11.17	月	平成26年度 生物多様性保全Ⅱ(実習編)研修	講義:「赤谷プロジェクトの取組」	林野庁森林技術総合研修所	林野庁森林技術総合研修所
H26.11.18	火	平成26年度 生物多様性保全Ⅱ(実習編)研修	「猛禽類の生息環境の向上に向けた森林生態系管理(講師:(公財)日本自然保護協会出島誠一氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所
H26.11.19	水	平成26年度 生物多様性保全Ⅱ(実習編)研修	「生物多様性の復元に向けた森林生態系管理(東京農工大学名誉教授亀山章氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所
H26.11.20	木	平成26年度 生物多様性保全Ⅱ(実習編)研修	「森林生態系管理によるシカ被害の防除(森林再生支援センター高田研一氏)」	赤谷プロジェクトエリア	林野庁森林技術総合研修所
H26.11.21	金	平成26年度 生物多様性保全Ⅱ(実習編)研修	グループ討議(講評)	林野庁森林技術総合研修所	林野庁森林技術総合研修所
H26.12.26	金	高原千葉村 クラフト教室	雪が降り場合のみ(雪有りで中止)		
H27.2.27	金	平成27年度 自然教室推進事業(前期)現地説明	森の探検ウォークラリーversion4体験、ネイチャークラフト体験(ヒノキの球果ストラップ、森のかけらストラップ)	高原千葉村	高原千葉村
					計

赤谷プロジェクトは、「生物多様性の復元」と「持続的な地域づくり」に関する先進的な取組であるとともに、国有林の協働管理のモデルでもあります。赤谷プロジェクトのこれまでの成果、協働管理のためノウハウ等について、他の国有林をはじめとする国内外の森林の管理に広く役立ててもらうため、林野庁等の行う研修や大学生・社会人向けのセミナーにも積極的に協力することとしています。

### 日本獣医生命科学大学 猛禽サークル

平成26年5月7日（月）自然林復元試験地等にて、日本獣医生命科学大学 猛禽サークルの学生を対象に赤谷プロジェクトの概要と国が何を目標しているのか等について座学及び現地実習を行いました。現地ではホン



意見交換等の様子

ドテンモニタリングと小出俣のカラマツとスギ試験地においてモニタリングの目的と概要を説明しました。

現地では、森林の機能等についての基本的な説明を含め、専門用語を極力省き、一方的な説明とならないよう、日常生活とからめてプロジェクトの意義を考えていただけるように工夫しました。



小出俣自然林復元試験地

### 新潟大学赤谷プロジェクト見学

平成26年6月22日（日）新潟大学農学部 生産環境科学科が『持続可能な森林経営演習』第3部 森林木材関連事業体と関連施設の見学として、自然林復元試験地等の赤谷プロジェクトの取組みを見学に来ました。

この見学旅行の本来の目的は、新潟大学農学部が開講している『持続可能な森林経営演習』の一環として、森林認証取得団体の見学ですが、例年その周辺の様々な森林林業関係の取組みの見学も行っているとのこと。



カラマツ漸伐試験地の説明

#### ○ 学生からの意見質問

- ・カラマツの漸伐の試験地のこの場所を選んだ理由
- ・伐採した木材は搬出したか
- ・林縁部の折れた木の原因
- ・赤谷プロジェクトの始まった理由等



スギ漸伐試験地の説明

## 「群馬県農林大学校（森林管理実習Ⅱ）」

平成26年10月23日（木）群馬県農林大学校森林・環境コース2年生を対象に「三国山地/赤谷川・生物多様性復元計画（赤谷プロジェクト）の目的である、生物多様性の復元と持続的な地域づくりの取組を学ぶ」を実施しました。

○ 主な内容（・赤谷プロジェクトの概要・溪流の連続性の復元・人工林から自然林への復元・野生生物のモニタリング調査活動 等）



スギ漸伐試験地の解説



藤澤所長の講義

○参加者の感想等

- ・赤谷プロジェクトって何だろう？と思っていたが、今日、説明を聞いてよくわかった。
- ・興味があった試験地が見られてよかった。
- ・赤谷プロジェクトが壮大なことをやっていることがわかった。
- ・自然林への復元は簡単だと思っていたが、難しいということがわかった。 ・生物多様性について今までよくわからなかったが、今日、現地でクマ棚を見たり、赤谷の森を歩いて説明を聞いてどういことがわかった。
- ・仕事に熱中する姿がかっこよかった。自分もそう思われるように頑張りたい。

## 東京農工大学赤谷プロジェクト見学

平成26年10月24日（金）群馬県みなかみ町猿ヶ京温泉ほかにおいて、東京農工大学（大学院農学府国際環境農学専攻）から依頼を受け、学生等の赤谷プロジェクト見学会を実施しました。

※ 見学会の目的は、①地域資源（人、歴史、文化、自然）を活かした農山村ツーリズムを体験し、途上地域への応用を考える。②日本の農山村における環境保全と地域開発の課題を「赤谷プロジェクト」から学際的に学ぶ。③本事例の経験を自国の環境保全地域開発に応用する可能性を探る。

初めは、藤澤所長から赤谷プロジェクトの概要を猿ヶ京ホテルの会議室で行い、その後、旧三国街道三坂線～群馬県側トンネルへと下り行程で紅葉真っ盛りの旧街道を3班に分けて案内しました。

各班には、教授が2～3名程度入り、通訳を行って頂きました。留学生は、タイ、ベトナム、中国、ミャンマー、エジプト、インドネシア、ウズベキスタン、カンボジア、ガーナ、マレーシアなど様々な国から来ておりました。



講義の様子



旧三国街道東屋で記念撮影

## 「環境省自然保護官研修」(環境省職員)

環境省環境調査研修所長の依頼を受け、平成26年11月5日(水)環境省環境調査研修所(埼玉県所沢市並木3-3)において、環境省自然保護官等23名を対象として、赤谷プロジェクトの紹介を行ってきました。

### 「林野行政に見る地域協働～赤谷プロジェクトを例に～」

赤谷プロジェクトの協定3者から「赤谷プロジェクトの概要と国有林の立場で赤谷プロジェクトを進めるにあたって」「日本自然保護協会の概要と赤谷プロジェクトにどのようにかかわっているのか、赤谷プロジェクトの取組とわかってきたこと」「これまでの経緯と地元の方々の考え方」をテーマに赤谷プロジェクトを紹介し、最後に各自然保護管から自分たちが抱えている問題を交えながら活発な質疑応答が行われました。



赤谷センターの取組を紹介

### ○ 主な質問等

- ・ダム開発やスキー場計画に対し林野庁はどちら側の立場だったのか。また、その後の対応はどのようにされたのか。
- ・赤谷では治山施設など自然に対し影響の大きい物を計画するときは、どのような形で議論をされているのか。
- ・林泉さんはなぜ、この取組に参加を決めたのか。また、人は集まってもいざやるときには一歩引く人が多い中、どのようなモチベーションや想いを持って取組まれているのか。
- ・イヌワシのプレスリリース以外でどのように環境省と連携してきたか。また、今後どのような連携を考えているのか。
- ・協定3者での意思決定の枠組みのアイデアはどうやって生まれたのか。



意見交換の様子

- ・協定3者の中で誰が音頭を取っているのか。

企画運営会議(最高決定機関)の他にざくばらんな打ち合わせができる場はあるのか。また、検討された事項や色々な企画が赤谷プロジェクトの取組となるにはどのような手続きを踏んでいるのか



質疑の様子

- ・林泉さんへ 最初は「この地域は何もない」と言っていたものがある時から変わったとのことだが、そのきっかけは何だったのか。
- ・地域協議会の独自の財源はあるのか。ない場合はプロジェクトの中でやりたいことをどのようにして調整しているのか。
- ・サポーター制度はどのような意図で作ろうと思われたのか。現在の登録者数はどのくらいか。サポーター制度をやっているのメリット・デメリットはなにか。
- ・意思決定機関に自治体が入っていないことが新鮮に感じられた。林野庁は同様の取組をどのように全国展開しているのか。協働で進めている中でメリット・デメリットは何か。
- ・協定を結ぶにあたって地元協議会などデメリットも多くあったと思われるが、そこを踏みこんだ背景は何か。協定を結んで活動の面でこういうことまでできるようになった等のメリットはあるか。

### 「利根実業高等学校校外学習」

平成26年11月12日（水）旧三国街道において、利根実業高等学校グリーンライフ科森林科学コース2年生を対象に自然環境や保護活動に対する知識を深め、今後の学習に役立てることを目的に環境教育を実施しました。

提供したプログラム「生態系サービスを探せ！」は、生物多様性が人類に提供するサービスを自然散策を通じて探します。また、供給・調整・文化的・基盤サービスを理解しましょう！

○三坂線入口～晶子清水～東屋～長岡藩士の墓～馬返し～くぐつが谷～宝岩～三国トンネル群馬側歩道～三坂パーキング



旧三国街道の東屋で記念撮影

### 「平成26年度 生物多様性保全Ⅱ（実習編）研修」（林野庁及び都道府県職員）

林野庁森林技術総合研修所の依頼を受け、平成26年11月17～21日に地方公共団体及び森林管理局担当職員等を対象に赤谷プロジェクトの取組について、研修講師及び現地研修への協力を行いました。

※研修目的：地域の自然的・社会的状況に応じた実効性のある生物多様性保全を図るため、現地実習を通じて、生物多様性保全の事例を検討し、森林施業を実行する際の留意点等を習得させ、生物多様性保全に精通した技術者を育成する。

○ 11月17日（月） 講義：「赤谷プロジェクトの取組」（赤谷センター所長 藤澤将志）

○ 11月18日（火）から20日（木）の内容

- ・「猛禽類の生息環境の向上に向けた森林生態系管理（講師：（公財）日本自然保護協会 出島誠一氏）」
- ・「治山事業（茂倉沢）における溪流環境の生物多様性復元の取組（講師：関東森林管理局治山課長山内三津雄氏）」
- ・「生物多様性の復元に向けた森林生態系管理（東京農工大学名誉教授 亀山章氏）」
- ・「森林生態系管理によるシカ被害の防御（森林再生支援センター 高田研一氏）」

5つの科目について講義及び現地実習が行われ、最終日にグループ討議が行われました。

○ 11月21日（金） グループ討議（講評）

生物多様性保全の取組について、3班に分かれて討議  
・発表が行われた最終日のグループ討議では、様々な切り口で問題点と取組の視点が発表されました。



藤澤所長の講義



グループ討議の様子

### 3 赤谷の森自然散策

群馬県内の一般の方々等を対象に、赤谷の森の生物多様性のしくみ、森林の働き、動植物についてなど自然や環境と人とのつながりを学べる環境教育プログラム「赤谷の森自然散策」を開催しました。

これは、赤谷センターの主催で、平成18年度から継続して実施しています。

平成26年度の赤谷の森自然散策は、昨年好評を得た地元猿ヶ京温泉の「民話と紙芝居の家」やみなかみ町と連携（共催）したイベント「学ぶ、遊ぶ、楽しむ」を基本にした取組をさらにパワーアップしました。

また、昨年から導入したイベントをサポートしていただけるボランティア・スタッフも協力者が増加し、要員不足を補いました。

・平成26年度の実績 実施回数：3回 延べ参加者数：113人

#### 赤谷森林ふれあい推進センターにおける「ボランティア・スタッフ」制度について

##### 1 目的

この制度は、赤谷森林ふれあい推進センター（以下「赤谷センター」）が実施するイベントなどをサポートしながら、自然観察に関する技術及び運営方法等について学べる機会として設定しました。

##### 2 ボランティア・スタッフの対象とする活動について

赤谷センターが主催する「赤谷の森自然散策」において、次の活動を行うものとする。

- (1) ガイド及びガイド補助
- (2) イベントの運営補助（受付、資料配布、参加者の誘導など）
- (3) イベント機材の運搬・携行（図鑑、ルーペ、救急薬品等）
- (4) 写真撮影（一眼レフ貸出）
- (5) その他（赤谷センターが必要と認めた活動）

##### 3 ボランティア・スタッフ申込みの条件について

- (1) 高校生以上（高校生は、保護者の同意が必要）
- (2) 現地まで自分で来ることができる
- (3) イベント中は、自己責任において自らの安全を確保できる
- (4) 健康で山を歩く体力がある
- (5) 参加者と一緒楽しむことができる

##### 4 その他

- (1) ボランティア・スタッフは、障害保険等に加入していただきます。（保険料は主催者負担）
- (2) イベント中に使用する機材は貸与します。
- (3) 希望者は、主催者が行う事前調査に参加できます。

平成25年9月19日作成

#### 平成26年5月24日（土） ～春の息吹と紙芝居～

実施場所：旧三国街道（新潟県側～群馬県側）

参加者数：33名

ガイド：赤谷森林ふれあい推進センター職員

ボランティア・スタッフ：3名

実施内容：春の息吹を体感しながら、ニリンソウ等の咲き誇る旧三国街道を散策しました。（高低差600mの新潟・群馬県境を越えるコース）

旧三国街道を散策しながら、ニリンソウの群落やブナの新緑、ブナハアカゲタマフシの虫こぶ、



ニリンソウの群落前で記念撮影

ムラサキヤシオ、トウゴクミツバツツジ等春のお花を観察しました。また、県境にある三国権現では、民話と紙芝居の家館長 持谷靖子先生から、三国権現にまつわる民話・伝承などを聞かせていただきました。昼食時は、お団子バイキングなどを楽しみました。



三国権現で民話を聞きました

イベントの最後は、「民話と紙芝居の家」にて、猿ヶ京温泉に古くから伝わるお話などを紙芝居で鑑賞！散策した風景が、懐かしいひと時となる瞬間でした。

○参加者の感想(アンケートより)

- ・貴重な体験ができて良かったです。
- ・みんなで楽しく、おいしいお弁当を食われてよかった。
- ・森や自然のことについてわかった。
- ・普段山登りしないので、親子で貴重な体験ができて良かったです。
- ・ブナ林のめずらしい樹木・草花・鳥の声が聞けた。
- ・植物の若葉や花がキレイでした。
- ・お団子は、イベントのアクセントになったと思います。
- ・おいしいお団子ありがとうございました。山で食べるお団子の味は格別です。
- ・冬の観察会で動物の写真と内容のカードがあったように、植物・樹木のカードがあると嬉しいです。次回の自然散策の秋のブナの紅葉が、楽しみです。
- ・子供向けの説明と、三国路をよく知りたい人、植物に特別に興味がある人とは別なので、子供組に入った方は物足らなかった。企画を別々にした方が良い



お団子バイキング

平成25年10月25日(土) ～深まる秋と紙芝居～

実施場所：旧三国街道(群馬県側)

参加者数：38名

ガイド：赤谷森林ふれあい推進センター職員

ボランティア・スタッフ：2名

実施内容：錦秋に染まるブナ・ミズナラの樹木を観察しながら、旧三国街道を歩きました。(高低差600mの群馬県側のコース)紅葉は、見ごろ！写真を撮りながら、かなりゆっくりとしたペースで、三国路の紅葉狩りを楽しみました。



紅葉をバックに記念撮影



持谷先生の笛演奏

昼食時は、恒例の「お団子バイキング」、そして、民話と紙芝居の家から、特別講師！持谷靖子様と宮崎りえ子様をお招きし、三国権現様で晴れ渡る青空の下、紙芝居や民話を鑑賞しました。全体的にいつもの倍の時間をかけた観察会は大好評でした。今後、スローペースの観察会用のプログラムを検討する考える良いきっかけになりました。

○参加者の感想(アンケートより)

- ・体力的に自信がなかったので、ゆっくり歩いてもらってたすかりました。ありがとうございます。
- ・樹木やカエデについて興味深い話が良かった。
- ・いろいろ木や花についての知識が豊富で、おもしろかった。写真の取り方も教えてもらいました。
- ・速度・説明ともバツグン！
- ・木の見わけ方をおしえていただいて良かったです。



青空の中での紙芝居の様子

- ・いいねカードや、アンケートの工夫など、楽しみながら勉強になりました。話し方も聞きやすく、声も大きくて良かった。
- ・他の班にないイベントもあり、とてもいい説明で楽しかったです。
- ・全てにおいて工夫がされていて、ハイキング嫌いになりかけていた娘達が全部自力で歩き驚きました。
- ・丁寧な説明と細かい気配りが大変良かったです。森の知らないことを沢山教えてもらい有難う御座いました。
- ・わかりやすく、面白く勉強になりました（80才になって学びました）。
- ・異色のコラボに感動しました。
- ・ハイキングだけでなく複合的な企画で楽しさが倍増しました。
- ・山歩きで疲れた体にごほうびのようで楽しかった。山の中での話がよかった。
- ・おいしいお団子ごちそうさまでした。はこんでくれた方ありがとうございました。



団子を運ぶスタッフ

### 平成26年2月11日（水：祝） ～冬の観察会と紙芝居！～

実施場所：群馬県みなかみ町相俣（いきもの村）ほか

参加者数：42名

ガイド：赤谷森林ふれあい推進センター職員

ボランティア・スタッフ：5名

実施内容：スノーシューを履いて、雪上でのアニマルトラッキング  
& 冬の樹木などの観察を行いながら、童心にかえていただきました。



いい天気！



お青空をバックに記念撮影

昼食後は、巨大な雪だるまを作ったりしながら、雪と戯れました。イベントの最後は、「民話と紙芝居



元気で～す！

の家」にて、猿ヶ京温泉に古くから伝わるお話などを紙芝居で鑑賞しました。散策した風景が、懐かしいひと時となる瞬間でした。



大根引きゲーム

#### ○参加者の感想(アンケートより)

- ・楽しい案内！ありがとうございました。
- ・声が大きく分かりやすかった。
- ・子供が夢中になれる企画で良かった。
- ・大根一本～よ！がとても盛り上がって面白かった。
- ・冬の動物について知ることが出来て良かった。
- ・丁寧な解説ありがとうございました。
- ・自然楽しく感じる事ができました。
- ・豚汁が美味しかった！
- ・民話と紙芝居楽しかったです。
- ・民話と紙芝居は自然一体。良い企画だと感じました。



雪で作ったテーブル